

平成17年度「グループ研究」事業採択テーマ一覧表

番号	研究テーマ	申請者代表	事業概要、目的、成果
1	針葉樹（特に杉材）による三次元圧縮成型加工	高山市名田町1丁目82-1 飛騨産業株式会社 代表取締役 岡田 賛三	<ul style="list-style-type: none"> ・利用が進まない杉材の新たな活用方法として、椀型や皿型などを一枚の板から立体圧縮する技術開発を行い木製品の新たなマーケットを開拓する。 ・立体成型圧縮技術の応用により、従来と異なる分野（家電関係、自動車内装）への進出を可能とする。
2	新世代シニアをターゲットとした高品質なテキスタイル・アパレル製品の開発	岐阜市正木1880 岐阜県繊維デザイン協会 デザイナー交流会 代表 加納 道一	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のテキスタイル、アパレルデザイナーが相互に交流・連携を図り、ファッション性が高く、高品質で機能的な「新世代シニア」向けの売れる製品開発を行う。 ・企業間連携によるコンセプト作りから製品開発までの手法の取得と川上（紡績・製布）と川下（製品製造）連携によるシナジー効果が期待できる。
3	快適な椅子のデザイン開発研究	高山市桐生町7-78 日進木工株式会社 代表取締役社長 北村 斉	<ul style="list-style-type: none"> ・16年度の研究成果を踏まえ、ダイニングチェアを対象として、設計～試作～評価実験～改良設計～試作を行い、快適性の高い椅子のプロトタイプを完成する。 ・人間工学をキーワードとするデザイン開発力の強化が図られるとともに、次年度予定している商品化につなげることができる。
4	木材チップ等による自然との共生・環境に優しい資源循環型ボード等の試作	可児市広見1丁目5番地 可児商工会議所21世紀クラブ 資源循環型木質製品開発の会 会長 中井 城嗣	<ul style="list-style-type: none"> ・木質系・雑木等の廃材等を再利用し、木材圧縮型・高圧水蒸気処理による高機能木質製品（梱包補完材）の開発を行う。 ・具体的な受注が見込める梱包補完材を開発することで、資源循環型の新たな産業起こしにつなげることができる。